

2025 年度 グループホーム事業報告書

施設長 山本靖雄

1. 事業内容

- ・ 共同生活援助事業【若葉ハウス（秋篠ハウス・北秋篠ハウス）】【高山ハウス】
- ・ 短期入所事業

2. 利用者の状況

・ 本年度は北秋篠ハウスの開所に伴い新規利用者 4 名を受け入れた。退居者は 1 名。（高山ハウスから 1 人暮らし）また、短期入所は新たに 9 名の利用者と契約した。総利用回数として、前年度より共同生活援助は 732 回、短期入所が 30 回の増加があった。

3. サービス提供の状況

【共同生活援助】

・ 利用者が地域の中で安心して生活できるよう、個別支援計画に基づいたサービス提供を行った。日常生活支援に加え、関係機関・ご家族との連携・健康管理・服薬支援などを実施し、利用者の生活の質の向上及び安定した地域生活の継続に努めた。

【短期入所】

・ 将来、グループホームを希望される方、ご家族の負担軽減、緊急対応などを目的とした受け入れを行った。安心して過ごせる環境作りに努め、必要に応じて関係機関との連携を行いながら支援を行った。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計（年間）
	開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
若葉ハウス 利用者5名	区分4 1名	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	区分5 2名	58	57	58	61	57	58	58	57	56	57	54	60	691
	区分6 2名	43	36	42	46	35	40	40	37	38	40	38	46	481
	合計	131	124	130	138	123	128	129	124	125	128	120	137	1,537
	宿泊率（1日平均）	4.37	4.13	4.33	4.60	4.10	4.27	4.30	4.13	4.17	4.27	4.00	4.57	4.21
	宿泊率（月）	87.3	82.7	86.7	92.0	82.0	85.3	86.0	82.7	83.3	85.3	80.0	91.3	85.4
秋篠ハウス 利用者4名	区分5 4名	84	86	84	89	77	84	94	77	86	84	77	90	1,012
	合計	84	86	84	89	77	84	94	77	86	84	77	90	1,012
	宿泊率（1日平均）	2.80	2.87	2.80	2.97	2.57	2.80	3.13	2.57	2.87	2.80	2.57	3.00	2.77
	宿泊率（月）	70.0	71.7	70.0	74.2	64.2	70.0	78.3	64.2	71.7	70.0	64.2	75.0	70.3
高山ハウス 利用者5名	区分3 1名							31	30	31	31	28	31	182
	区分4 4名	112	115	117	122	107	113	91	82	85	86	77	97	1204
	合計	112	115	117	122	107	113	122	112	116	117	105	128	1,386
	宿泊率（1日平均）	3.73	3.83	3.90	4.07	3.57	3.77	4.07	3.73	3.87	3.90	3.50	4.27	3.80
	宿泊率（月）	62.2	76.7	78.0	81.3	71.3	75.3	81.3	74.7	77.3	78.0	70.0	85.3	76.0
北秋篠ハウス 利用者4名	区分5 2名 4～6月 体験	16	15	18	32	38	32	46	41	43	42	42	43	408
	区分6 2名 4～6月 体験	25	30	37	44	38	41	46	41	44	40	41	43	470
	合計	41	45	55	76	76	73	92	82	87	82	83	86	878
	宿泊率（1日平均）	1.37	1.50	1.83	2.53	2.53	2.43	3.07	2.73	2.90	2.73	2.77	2.87	2.41
	宿泊率（月）	45.6	50.0	61.1	63.3	63.3	60.8	76.7	68.3	72.5	68.3	69.2	71.7	64.2

4. 事業の成果

- ・ 重度型のホームとして北秋篠ハウスの開所を行った。
- ・ 日常生活支援を通じて、利用者の安定した地域生活の継続を行った。
- ・ 各関係機関と連携し支援体制の維持・強化を行った。
- ・ 利用者一人ひとりの状態や特性に応じた支援を行い、安心して生活できる環境作りに努めた。

5. 課題

- ・ 利用者の障害特性や支援ニーズの多様化に伴い、職員間の情報共有及び支援体制の充実。

6. 収支状況および予算執行の評価

- ・ 宿泊の増加に伴い前年度を上回る収入となり予算額を上回った。
- ・ 予算内ではあったが、時給や夜勤手当の上昇、食事作り専用スタッフの配置（秋篠ハウス・北秋篠ハウス）に伴い前年度と比較して人件費が大幅に増加した。

7. 今後の取り組み

- ・ 利用者一人ひとりの意思決定を尊重しながら、多様な支援ニーズに対応できる持続可能な支援体制作りに取り組んでいく。